

謹賀新年

二〇一七年

酉^{とり}

2017年は酉年

今年の干支は「酉」です。干支とは、「十干」と「十二支」を組み合わせたもので、酉は十干にはなく十二支にはあります。ですから正確には「今年の十二支は酉」となります。

さて酉年の由来には、「果実が極限まで熟した状態」とあり、物事が頂点まで極まったと解釈されます。習い事や学問・商売などで成果が得られたり、商売繁盛に繋がったり、ご利益のある一年になるかもしれません。

また酉年の人の特徴として、「鋭い直観力と行動力・社交性が抜群」な半面、「本音を隠す、プライドが高く諦めるのが早い」などといわれています。長所も短所も併せ持つのが人間ですが、酉年生まれは、頭の回転が速く機転が利くというのが特徴のようです。

さて、今年はどんな一年になるでしょうか。



常陸大宮市長
三次 真一郎

明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、輝かしい新春をお迎えのことと、お慶び申し上げます。

また、日頃より市政全般にわたり多大なるご支援とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年は、多くの皆様方の温かいご支援を賜り、引き続き3期目の市政を担わせていただくことになりました。その任に当たりますことは大変光栄ですが、課せられた使命と責任の重さに身が引き締まる思いです。今後、市民の皆様の声に真摯に耳を傾けながら、これまでの経験を生かし、初心を忘れず、本市の発展のため全力を尽くしてまいる所存であります。

さて、昨年1月に国土交通省より重点道の駅に選定されました「道の駅常陸大宮かわプラザ」が、3月にオープンいたしました。お陰さまで、当初の計画を大きく上回る来場者で賑わっております。これからも、本市の魅力や情報を一元的に発信するシティーセールスの拠点とするとともに、地域の豊かな恵みを生かしながら、新たな特産品開発や農林業と商工業が連携した生産・加工・直販などの6次産業の育成を推進することで、地域に根ざした新たなしごとづくりにつなげてまいります。

また、本市のまちづくりの指針となります総合計画が平成28年度をもって目標年次を迎えることから、現在、次期総合計画の策定に取り組んでいるところであります。引き続き、皆様方のご理解とご協力を賜りながら、次期総合計画を策定し、魅力ある元気な常陸大宮を目指し、総合的、計画的にまちづくりを進めてまいります。そして、市民の一体感と満足度をより一層高めるため、引き続き努力してまいりますとともに、誰もが「住みたい、住み続けたい、住んでよかった」と実感できる県北西部の中核都市であり続けるため、全力で市政運営に当たってまいります。

市民の皆様には、どうか本年も変わらぬご支援とご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げますとともに、皆様方のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。



常陸大宮市議会議員
高村 和郎

明けましておめでとうございます。

「何となく、今年はよい事あるごとし。元日の朝、晴れて風無し」という石川啄木の歌がありますが、皆様におかれましては、お揃いでお健やかに新しい年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

さて、昨年の明るい話題では、リオデジャネイロオリンピック・パラリンピックでの日本選手団の活躍や、大隅良典博士のノーベル賞受賞などがありました。反面、熊本地震や台風による洪水など、多くの自然災害が発生し、心の痛むことが多い年でもありました。人は安心しきると、安全への努力をやめるといわれますが、地域の安全を確保し、安心して暮らせることがまちづくりの基本でありますので、市議会としても関わりを持つ中で、安全のための施策の充実に努めてまいります。

本市では、昨年3月、地域活性化の拠点として、「道の駅常陸大宮かわプラザ」がオープンしました。オープン以来、大勢の来場者で賑わい、本市のシンボルとしての存在感を発揮しています。今後も、地域ブランド品の拡充や

新たな商品開発という課題と向き合いながら、情報発信並びに地域の核として、交流人口の集う場となる大型施設に成長してほしいと願っております。

合併して13年を迎える本市ですが、少子・高齢化や人口減少に対しましては、子どもを生み、育てやすい環境づくりや、年齢に関係なく、意欲や能力に応じて働ける場所の確保はもとより、あらゆる手段を講じる必要があるものと考えます。十分な少子化対策が必要なことはいうまでもありませんが、子ども達が社会の担い手となるには時間がかかります。また、生活の基盤となる公共交通については、様々な角度から検証し、効率的で効果的な移動手段となるべく、その整備・確立が求められます。

市議会といたしましては、執行部と連携を図りながら、二代表制の一翼を担うべく、議会が一丸となり、市政発展のため、その職責を全うすることをお誓いいたします。

結びに、自然豊かな、住んでいる人が暮らしやすいと感じる本市において、今年一年ともに手を携えて、健やかに過ごしたい、そんな思いを込めまして新年のご挨拶といたします。